

きく組の様子 (No.5)

まぜまぜクラスの経験や年長児との関わりを通して、少しずつ進級を意識するようになり、改めて今のきく組のみんなと過ごす時間を大切にするようになりました。園庭に出れば「みんなで氷鬼がしたい！」と提案する声上がり、室内では「モンチッチじゃんけんは？」「わたしよたしよたしよう！」など大人数で遊ぶのが広がります。また、それぞれが好きな遊びをしても、自然とやりとりが生まれて、各々の遊びが繋がっていました。給食では、トランプを使ってくじ引きをし、いろんな友達との会話を楽しむ中で、苦手な食べ物にも挑戦することができていました。様々な場面で、友達の存在が力となり、自分を信じて一歩踏み出していました。



落とさないように後ろの人へ...

モンシロチョウの幼虫に食べられて、育てることに苦戦していたキャベツが大きくなり、収穫しました。後ろの人に渡して職員室まで運ぶリレーをして楽しみました♪

ごっこ遊びでも使っている牛乳パックの壁で町を作り、給食を好きな場所で食べました。「ここは1丁目です！」など住所を決めて、友達とやりとりする姿も見られました。



牛乳パックの町を作ったよ！



氷鬼中！捕まらないぞ！

氷鬼やケイドロ、増え鬼など様々な鬼ごっこをしました。逃げ方、捕まえ方を仲間と作戦を立て、工夫していました。クラスみんなでしたり、ゆり組と対決したりして楽しみました♪

繋がった牛乳パックは家だけでなく、泥棒の住処や車、電車に見立てるなど、集まるメンバーによって使い方や遊び方が変化していました。



電車が通ります♪



ゴム跳びに挑戦！

節分のお面作りで、輪ゴムを繋げたことをきっかけに、輪ゴムをたくさん繋げる遊びが始まりました。自分達で様々な跳び方を考えて遊びを広げていました。

「ぼくのマチをつくろう」という絵本を題材に、自分だけの町のイメージを広げて形を組み合わせて作りました♪



どんな町にしようかな♪



3！2！1！ゴーシュート♪

キューボロを組み合わせてビー玉転がしをする遊びから、ビー玉をペイブレードに見立てて対戦する遊びがブームになっています。様々な場所で対戦していました。

卒園式の日を使うブローチを在園児で協力して作り、プレゼントしました。年長児からは、「幼稚園のこたよろしくね」のメッセージと一緒にメダルをもらいました。



まつぶじさん！ありがとう！

まつぶじさんでも、いろんな遊びに夢中になって、楽しい時間が過ごせますように…★